

議員と話す会報告書

開 催 日 時	令和7年5月22日（ 木 ） 午後7時～午後8時45分	
開 催 場 所	三雲天白公民館	
班 名	2 班	
出 席 議 員	代表者 <u>小野建二</u> ① <u>東村佳子</u> ② <u>赤塚かおり</u> ③ <u>田中正浩</u> ④ <u>深田 龍</u> ⑤ <u>濱口高志</u> ⑥ <u>中島清晴</u>	
	司会進行者	濱口高志
	報 告 者	赤塚かおり
	記 録 者	東村佳子 田中正浩 深田龍
参 加 人 数	16名	
意見・要望等 主な質疑応答	別紙のとおり。	
代表者の所感	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島 清晴 様

令和 7 年 5 月 28日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

2 班

代表者 小野 建二

意見交換

【テーマ 特に設けず 】

【開催形式】

ワークショップ形式(3班)

【意見等】

- ・意見 ディズニーパレードで警備代 2,000 万円かかったと言うが、誰の金だと思
うのか。
- ・意見 市政としては良いと思う。効果があると思う。松阪市って税収が多く、潜在力
は高いと思っている。松阪市は市民の意識が高い。不正が松阪市はない。フードバン
クをしていると、他市町だと不正がある。市民の協力もすごい。登録もきちっとしてく
れる。
- ・意見 そういう良い話をもっと出てくるといい。
- ・意見 済生会が指定管理されることで変わる医療体制の情報をこまめに出してほし
い。
- ・意見 市民病院が担っていた緩和病棟や隔離病棟の今後どうなるのか。緩和ケア
病棟が増えるのは良いと思う。
- ・意見 救急体制も 2 病院できちんと役割分担してほしい
- ・意見 職員の処遇もきちんと守ってほしい
- ・意見 CS の在り方、考え方の整理、状況、コミュニティスクールの理解度が学校に
よってさまざまで受け入れができていない。とりまとめも報告もなく中途半端。
地域とともにこどもを育てていく、学校とのコミュニケーションをもっとすすめるべき。
小学校の見守り隊と教育委員会と自治会との連携がなく心配である。
- ・意見 民生委員の受け手が無い中、待遇と人選の仕方など行政がもっと寄り添った
目線で事務的でなく思いを持って対応して欲しい。感覚が昔のまま、実務は激変して
いる、制度の議論、見直しを望む。男性独居に女性民生員が何うことは懸念され心配
である。
- ・意見 ふるさと納税の活用で子育て政策を充実させ、子育て世帯が増えている街が
ある。松阪市でももっとふるさと納税に力を入れて欲しい。

- ・意見 三雲に道の駅をつくって欲しい。
- ・意見 市民病院の建物のいちばん上にある場所を開放して欲しい。
- ・意見 防災タワーの使い勝手を良くして欲しい。
- ・意見 松寿園が無くなった。高齢者が多いのに何故無くなったのか、代替りの施設が欲しい。
- ・意見 松阪市では、何を基準にして決めているのか市政の判断がわからない。もっとわかりやすく、しっかり判断して運営していくべきである。

【課題・問題点】

- ・議員の PDCA のサイクルはどうなっているのか？わたしたちはどうしたら議員の活動を知ることができるのか？ただ聞いてもらったり、言ったりしただけではダメ。次回の議会が楽しみ。4つのチームから進めることが出てきてもいいのかなと思う。もうひとつは、若者の定住と言うが、今日の会に若者がなぜいないのか。中学生とか高校生、大学生にアピールしたのか？そういう世代も来てもらってコミュニケーションをとって、次の世代につなげていかないといけない。
- ・個人情報の取り扱い、要支援者の把握の仕方、市がどこまで協力的に情報共有をしてくれるか、要支援者の個人情報の共有がないと避難も救出も困難。
- ・ため池の決壊が心配されるが人的被害がないというだけで工事着手の対応が後回しになる、負担金も大きい。昨今の雨の降り方で農地が浸かることがとても心配
- ・農地の圃場整備後の排水路の老朽化が進んでいることへの対応（津市は補助率80%）や若い方の担い手不足も心配である。もっと農業に光を当ててほしい
- ・中学生の部活でスポーツドリンクは飲んではいけないとなっている何故か。（大会時は飲んで良い）
- ・誘拐メールがあったとき、地域の自治会や近所の駐在が知らなかった。保護者だけで無く、子どもを守るためには情報の共有に努めるべきだが。
- ・市民病院の面会禁止はいつまで続くのか。5類になった感染症の正しい知識を市民

病院が率先して発信することが必要。

・まるごと相談室には、高齢者の移動手段の相談が多い。移動手段の充実が必要。

【主な質疑応答・意見等】

問 嬉野の自治会長の会があった。市長にも来てもらった。そのあと、振興局ともめた。自分の地区から委員や役職を2名出すのが難しい。人は少ないし、高齢化。振興局は事情を知らない。3年前も同じ話をしたが、3年前のことは知らないと言われてしまう。地区の事情を知ってもらった上で、民生委員などについては適正な人数を考えて欲しい。振興局からは権限がないと言われてしまう。公務員の悪いところという印象。2時間半話をして平行線。結論的にはまた考えますとなった。

答 欠員になっている地域もある。定員を充足させなければいけないものではない。70歳でも仕事がある時代で、なかなか民生委員を無償でしてもらうのは難しい。

意見 時代も変わって、できる人がおるならええけど、できる人がいないからどうしたらええんか？という相談。地域のことをわかって欲しい。

問 若い者は日中、公民館などに来られない。働く世代は夜なら公民館に来られる。夜の管理をしてもらうために、市はどうするのか。公民館と地区のセンターを兼ねているのがおかしいのではないか

答 それを一元化していくのがコミセン化。

問 選定療養費は効果があると聞いている。救急車の出動件数は減っているのか

答 助かる命が助かるようにするのが主旨。軽傷な病気やケガででも救急車が出動する件数が非常に多かった。

意見 良いことだとは思いますが、過疎地域で介護タクシーなどが普及していればいいけど、まだ少ない。

問 マラソンに中学生が駆り出されることもあると思う

答 教育長としては、学びの場づくりと説明している。

問 どれくらいの効果があるかを考えて、検討しないのか

答 検討はしていると思うが、赤字だからやらないといったことではない

代表者所感

○今回はテーマを設けず、議会での審議結果などの報告もせずに開催したが、フリートークで議員に聞いて欲しい話だけの市民もいた一方、あまりにも話す内容が幅広い為、テーマがあったほうが他の市民の話す内容を深掘りできるとか、他の地域の状況なども聞けるためテーマがある方が良いという意見も聞かれた。

○参加された市民のなかには、議員と話す会に4回参加された市民がいた。

○会場の冷房が使えない期間であったため、扇風機を借り、窓を開けるなりして暑さ対策をした。暑い日であったため、開催する会場の空調を事前に確認することが必要だったかも知れない。

議員と話す会の様子

